



2026年5月発行
社会福祉法人 ありのまま舎
(障害者自立企画)

発行責任者 白 江 浩
編集 集 佐 藤 環

〒982-8544

仙台市太白区西多賀4丁目19-1

TEL 022-243-1300

<http://www.arinomama.or.jp/>

E-mail houjin-arinomama@globe.ocn.ne.jp

1976年2月8日発行
第3種郵便物認可(毎週4回月・火・木・金曜日発行)
SSKO通巻12184号

2026年度社会福祉法人ありのまま舎 開所記念会 4月1日(水)

4月1日に開所記念会を開催しました。法人設立時の理念と意思を振り返り、新たな活動年度に向けて取り組む契機とするため、毎年節目となる4月1日に開催しています。2026年度は法人設立40周年にあたり、11月に記念式典を企画しており、また感染症等の予防を踏まえ、理事、評議員、入居者と家族の方々にご出席をいただきました。第一部では深田寛牧師による礼拝が行われました。「共に生きる」と題しお話を頂戴しました。「最も大切な魂は耳に聞こえない苦悩や悲しみを聞くことであり、ありのまま舎の活動は最も尊い魂と誇りを持つ活動であることを忘れないでください」とお話をいただきました。

記念会では白江理事長から新年度方針説明があり、また「60年前に活動が始まり普通に生きることを願い、尊厳を守るために当事者運動に誇りをもつてやってきました。今年法人設立40年を迎えます。すべてのことが変わ



開所記念会 (R8.4.1)
深田寛牧師による礼拝

ってきました。その中で不条理な死をずっと見てきました。求められていることは極めて高く、ぎりぎりのところで生きる人たちのケアの精神で共に支え、尊厳を守ることを忘れないでいってほしい」とお話がありました。その後、辞令交付が行われ、各事業所やセクシオンより目標を発表し、思いを新たに致しました。

薫る風

ウクライナ、イラン、ガザそれ以外にも世界中で戦争・紛争・争いにより多くの生命が日々奪われている。報道される死者の数だけ人生があり、家族や友人がいて、その悲しみは計り知れない。争いを主導する人々も同様の悲劇に味わう計り知れない悲しみは同じだろう。それでも、武器を持ち、武器に頼り、武力で決着させるしかないのだろうか。人類の叡智をもってすれば、そんなことはない。報復の大義も気持ちには理解し、私自身も同様の目にあつたら、そう考えるだろう。しかし、考えるだけで思いとどまることも私たちにはできない。多くの人はそうしてきた。必死になってひとりの命を救うために、力を合わせてきた同じ人々が、いとも簡単に多くの人の生命を奪っている。物価高騰に苦しみ、生活に行き詰まり、生業が立ち行かなくなる経済的問題により生命を絶たれる方もいるかもしれない。福祉関係の事業は国が定めた報酬や単価で事業が行われており、価格転嫁などできない。食費もいかに賄うか。大げさではなく、一円、一円を削りながら日々苦闘が続く。そういう意味で経済的な影響も深刻に受け止めなければならぬ。ただ、今は日本に爆弾は飛んでこないだろう。爆弾が飛び交い、激しい銃撃の中、先行きの見えない今日を生きる人々への思いだけは失ってはならないと思う。慣れてしまふ、仕方ないと思ってしまう。それが私自身怖い。解決のために動ける立場の人々に委ねるしかない歯がゆさもある。ひとりひとりには微力でも平和を願う多くの人が、そういう立場の人々を突き動かすことはできると思う。四月にも入居者がひとり旅立たれた。意思確認ができない状態でその方が望まれる別れの時をどうするか話し合ってきた。最後まで生命の尊厳は守られなければならないと思う。

(白江浩)

辞令交付式では、入舎したスタッフの辞令交付が行われ、辞令を受け取りました。

代表して難病ホスピスケア互理ありのまま舎メディカルナースの吉田弥枝さんから新入職員を代表して挨拶がありました。『私たちは理念である「いのちを大切に誰かがありのままに認められ支え合いながら共に生き自己実現できるコミュニティを目指す」という考えのもとこの場に立っております。利用者の方、おひとりおひとりがそれぞれの思いや背景を持ち、それぞれの人生を歩んでおられることを忘れず、その「ありのまま」を大切にしたいと考えております。まだまだ未熟ではございますが、皆様のご指導をいただきながら利用者へ寄り添い、安心して過ごしていただけるよう努めて参ります。』と挨拶をいただきました。皆様の「ご指導」を支援をお願い申し上げます。



新規採用のスタッフの皆さん

各事業所で避難訓練

ありのまま舎では「防災及び減災基本規程」を2022年4月1日に定め、3月11日(東日本大震災)・9月1日(防災の日)を基準日として、「火災」「地震」「風水害」別に災害発生時への対応基本シミュレーション実施計画を策定しています。3月に入居者の方が暮らす事業所で避難訓練を行いました。

【ホームケア仙台東りのまま舎 リビングセンター】

消防避難訓練 3月11日(水) 日中想定で行いました。大まかな日時のみを周知し、非常ベルが鳴った時に出勤しているスタッフが全員で避難誘導を行いました。入居者の外出の有無、ホーム内のどこにいるかで避難が変わりスタッフ同士の連携が大切であることを学びました。また普段、補聴器を使用している方がたまたま補聴器を外して



居室から外に避難する入居者の方

おられ、スタッフが火事であることを伝え避難する対応がありました。耳が不自由な方への避難誘導を改めて学ぶことができました。(佐藤環)

【難病ホスピスケア 太白ありのまま舎】

消防避難訓練 3月11日(水) 夜間に震度5強の地震が発生し、その後館内で火災が起きたという想定のもと、実際の災害時に必要となる一連の行動を確認する内容を行いました。訓練後の振り返りでは、施設長より「入居者の安心につながる声掛けの大切さ」のお話があり、今後の改善に向けた講評がありました。また、参加スタッフからは、放送機操作の再確認など、より実践的で前向きな意見が多く寄せられました。基本動作の再確認に加え、災害発生時に求められる判断力や連携体制の強化の課題も明確になりました。(森祥二)



3月11日(水)消防訓練 (太白ありのまま舎)

【水害訓練 3月18日(水)】

当施設では水害発生時の安全確保を目的とした垂直避難訓練を実施しました。近年の大規模水害を踏まえ東日本台風を参考に「1階が浸水し使用不能となる」ことを想定し、入居者の方を2階へ避難誘導する手順を確認しました。備蓄品の移動方法や搬入経路の確認も行い、災害時に必要となる物資確保の流れを再点検しました。

また事前訓練として、ガソリン発電機・ガス発電機の操作訓練、蓄電池(デコでんち)の操作訓練を行いました。訓練時には発電機が起動しないトラブルが発生しましたが、燃料供給不足が原因と判明し、ガス発電機は再試験で正常に作動しました。また、蓄電池(デコでんち)は電圧不足が確認されました。これらの結果から、非常用電源の操作には日頃からの点検と習熟が重要であることを学びました。(森祥二)



水害訓練垂直避難でベッドのまま2階へ避難しました。

【難病ホスピスケア 互理ありのまま舎】

消防避難訓練 3月20日(木)

今までの反省点を進行表が詳細に記載してあると動きが形だけの訓練になってしまう点を考慮し基本の記載にしました。開始後、緊張から消火器を使用してしまうハプニングが起き、あつという間に煙で周囲が見えなくなり煙の流れる速さを実感しました。出火場所は施設の中央部でしたので両側へと避難誘導する状況では職員同士の連携が取れない事も判りました。施設長からは「避難訓練は上手くできることより問題点を洗い出すことが大切」という話があり、その通りだと思いました。終了後、粉だらけになった床をみんなが笑いながら掃除をし、楽しい思い出も一つ増えました。今後は、少人数でプチ訓練の研修を計画し、その後、全体で全員参加の日中想定避難訓練を計画したいと思えます。(大宮加奈江)



消火器の噴霧であつという間に周りが見えなくなりました。

仙台エリア

【ホームケア仙台ありのまま舎
リビングセンター】

自立ホームでは訪問リハビリ
を利用されている方が3名おら
れます。昨年入居されたOさん
は、進行性の難病で徐々に下半
身が不自由になり車椅子を使用
されています。ホームに入居す
る前は高齢者施設で暮らし車椅
子への移乗はほとんどなくベッ
ド上で過ごされていました。



自立ホームの満開の桜。天候に恵まれ長く楽
しむことができました。(4月8日撮影)

標を達成しています。今はベッ
ドから車椅子へも見守りででき
るようになりました。「最初はつ
らかったけれど、先生がとても
上手に声がけしてくれて自分も
頑張れる。次の目標は前に作っ
た新しい車椅子で買い物に出か
けること」と笑顔でお話しされ
る姿が印象的です。

(佐藤 謙)

【サポートケア仙台ありのまま舎
(難病・障害者相談支援センター)】

令和8年4月となり、新年度
がスタートしました。子どもた
ちは、小学校や中学校等に進学・
進級、また社会人となる方や異
動や転職等により新たな環境に
なる方も多いと思います。その
な環境に「頑張るぞー」と思っ
方もいらつしやると思います
が、「大丈夫かな？」と不安にな
る方、ご家族が新しい環境にな
ることに不安を感じる方もいる
のではないかと思います。そし
て、周りの方の変化に焦りを感じ
る方もいるのではないと思
います。更に、季節の変わり目
というところで体調を崩しやす
く、より不安を増大させてしま
うにも思います。私自身も新し
い環境や季節の変わり目に体調
を崩してしまうことがあります。

そのことを踏まえると障害の
ある方は、より気持ちや体調面
で不安を多く抱えているのでは
ないかと思えます。ご本人やご
家族のお気持ちを、少しでも汲
み取れるように、寄り添えるよ
うに、この不安になりやすい季
節を乗り越えて行けるようなお
手伝いをさせて頂ければ・・・
と思っております。その為にも
私自身体調管理をし、周りの
方々に「迷惑をお掛けしないよ
うに日々の業務に努めていき
たいと思います。」(相澤 誠一)

【仙台市基幹相談支援センター】

令和8年度が始まり、あつと
いう間に1ヶ月が経とうとして
います。仙台市障害者基幹相談
支援センターは4月から新任職
員が配属となり、雰囲気も新た
に、日々の業務を行っております。

仙台市障害者基幹相談支援セ
ンターでは年に5回合同事例検
討会を開催しておりますが、令
和8年度の開催に向けて準備を
進めております。昨年度末には、
令和7年度開催に対するアンケ
ートを実施し、参加していただ
いた皆さまから様々な意見を
いただきました。満足との「意見
見も多かったが、改善した点も
多かった。意見をいただいたま
したので、いただいた「意見
をもとに内容等を検討し、参加
していただく皆さまの学びや気
づきがより深まり、充実した時
間となるよう努めていきたいと
考えております。

(佐々木 桃子)



緑と共に 70 余年 やすらぎのある庭づくり

有限会社 五葉園

〒982-0034

仙台市太白区西多賀 3-14-11

TEL 022-245-0329

FAX 022-244-8970

<http://www.goyoen.com>

【建設業許可】

宮城県知事許可 第15763号

【事業内容】

造園工事・各種緑化工事 設計施工

庭園・緑地 維持管理業務全般

外構・エクステリア工事 設計施工

茂庭台エリア

【難病ホスビスケア

太白ありのままき】

【メディカル】

日々の関わりの中で、家族看護の重要性を実感する出来事がありました。私は「家族が面会に来られるたびに、その日の様子や体調の変化をお伝えすることを心がけていました。後日「家族より「様子を丁寧に教えてもらえたので来られない時も安心していました」と声をかけていただきました。自身の関わりが「家族の安心に繋がっていたことを知り、とても嬉しく思いました。特に終末期におけるご家族は多くの場合、不安や葛藤を抱えながら過ごされています。また、これで良いのかと悩まれることも少なくありません。家族看護において、そばにいられない時間であってもつながりを感じていただけるような関わりが大切であると考えます。

そのためには、入居者の表情や一日の過ごし方を具体的に伝え、その場にいるような感覚を持っていただける関わりが必要だと改めて感じました。

これからも「家族に寄り添い、離れていても安心していただける関わりを大切にしていきたい」と思います。(我妻理紗)

【チャイルドケア

仙台ありのまま舎保育園】

桜が綺麗に咲いたと思っていながら、あつという間に鮮やかな新緑が眩しい季節となりました。桜が咲くと、一年中咲いていたいという気持ちを感じてしましますが、この時期の若葉も綺麗で心地よさを感じます。風が強い日もありますが、お散歩が気持ちいい季節なので、保育園では晴れた日はお散歩を楽しんでいます。

最近、アリの巣を見つけた男の子。虫が苦手なのですが、ミミズを運んでいるところに出会い、興味津々。運んでいる様子や、アリの巣の周りで忙しくしているアリをじっと観察していました。

大きいクロオオアリを見つけた時は、どこに行くのかについて歩いて行ったり、巣に木の枝を入れてみたりと、苦手だった虫を恐れずに関心を持つようになりました。一緒にお散歩に行く



ビー玉アートでこいのぼり作りをしました。夢中で取り組んでいました。



ありのまま舎ホームページ
QRコード

各事業所の紹介や映画、出版物の紹介、ご支援いただきたい内容なども掲載しています。ぜひご活用ください。



のが嬉しい瞬間であり、その姿がお散歩という戸外活動のねらいでもあります。

保育園では、子ども一人ひとりの発達を注意深く見守り、その時の心身の状態に合わせて、遊び等を設定し保育しています。その日々の中で、こうした成長や心身の変化が見られることは、自分が何か達成できることよりも嬉しいと思うのです。(春日麻里)

名取エリア

【サポートケア名取ありのまま舎
(難病・障害者相談支援センター)】

今年度は相談者さんが日中活動や職域、余暇の時間に製作している作品や商品などを紹介します。今月は就労継続支援B型事業所 manaby CREATOR Sでイラストや小説を制作しているASDのイチチーさんの作品を「紹介いたします」。

イチチーさんは数年間かけて「座敷童シリーズ」という作品づくりに取り組んでいます。様々なキャラクターの心情を表情や言葉で細部まで伝えられるところがイチチーさんの魅力です。



座敷童の
おまけの時間
総集編・完

こちらは「座敷童」シリーズの総集編の中の挿絵です。インターネットで「novalue」と検索し、作者名一覧でイチチーさんを見つけていただくと、作品を楽しむことができます。ぜひ、お楽しみください。(藤田石裕子)

オフィスを進化させ、
ビジネスライフを快適にする

赤井沢

取扱商品事務用品

文具/ファンシーグッズ/教育用品

ホビー用品/典禮用品/贈答用品/カラー複写機・複合機

コンピュータ/プリンタ/印刷機/電話機/スチール家具 ほか

〇本社営業部 仙台市太白区長町五丁目3-3

TEL249-2121 FAX249-2128

〇長町店 TEL247-8848

〇大町店 TEL238-0543

互理エリア

【難病ホスピスケア

互理ありのまま舎】

【ケア】

4月に入り日々環境が変わっていき中、互理ありのまま舎も開所して8年目を迎えました。新年度という事で、島の海ユニットではお茶会を企画し、アクトスタッフにも協力して頂きながら全体行事として開催しました。

企画内容としては、フルーチェを作って入居者とスタッフと一緒に食べるというシンプルな企画です。フルーチェは3種類の味を用意し、その上にお好みでホイップクリームを乗せてアレンジしたものを提供しました。入居者の方々にフルーチェ作り



島の海でのお茶会。おいしく、楽しいひと時となりました。



を手伝って頂きましたが、普段は寡黙そうな方が笑顔でフルーチェを混ぜていたり、スタッフとコミュニケーションを図りながら楽しそうに食べるのを待っている方の表情が印象的でした。入居者から「美味いね」「また食べたい」と言った声やたくさんの方の笑顔が見られ、本当に企画して良かったなと思います。また、新たに入職したミヤンマのスタッフの方々に「美味しかったと喜んで頂けました。今回の行事を通じて、日常ではあまり見られない入居者やスタッフの様子を知れたので新鮮な思いです。コロナも緩和されたことある今日、これも「ケア」なのだと改めて深く学んだ一日でした。」(早坂俊輝)

【サポートケア県南ありのまま舎
(難病・障害者相談支援センター)】

この春異動に伴い2年ぶりに戻ってきました。「初めまして」よりも、コノ無沙汰しておりました。この挨拶を交わす日々を送っております。年のせいでしょうか、以前一緒に仕事した方々からの「おかえりなさい」が身にします。

2年ぶりの互理町。過去に担当させていたいた皆様の通所先を確認する中で、知らない事業所があり、互理町の皆さんが利用できる事業所は部分的ながらも増えていると感じております。とりわけ就労継続支援は、A型からB型への事業転換のみならず、在宅ワークなど働き方の変化は障害者の就労支援にも変化をもたらしていました。在宅ワークの選択肢があることで就労支援に結びつき、工資で好きなものを買うために励んでおられる話を聞くと、過去の支援者として嬉しい限りです。

しかしながら、当センターは職員が入れ替わり、慣れ親しんだ県南ありのまま舎ではないと感じる方もあるかもしれません。私たちなりにできること、寄り添いお手伝いできるような頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(板橋政江)

【サポートケア互理ありのまま舎
基幹相談支援センター】

新年度を迎えました。私も入職し早半年が過ぎました。まだまだ、分からない事も多いですが、皆さんのお力をお借りしながら、日々成長していきたいと思っています。

さて、互理基幹相談支援センターでは、今年度も、互理町障害者等地域自立支援協議会の運営や研修作り、精神障害者コミユニティサロン等、さまざまな事業に取り組んでいく予定です。昨年度は、精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム「山元・互理合同研修会」を行いました。各町の取り組みを知る良い機会となり、部会委員が同じ話を聞き、意見交換できたことで我が事感が感じられた等といった感想が聞かれました。今年度も2町合同で取り組みを行う予定となっております。「(通称)にも包括」の最終目標は「まちづくり」であり、自立協の役割であるということ部会委員で共有し、課題等を出し合い、検討し、私自身勉強しつつ、取り組んでいければと考えております。

最後に、今年の目標として掲げた、「常に笑顔で、一つ一つ出会った、人との関わりを大切に」を常に心がけ、取り組んでいきたいと思っております。(大宮朋子)

【協力ありがとう
ございました(敬称略)】

【本部】

◆会報発送のための封封の糊付けを、仙台南高等学校JRC有志・東北学院大学附属高等学校有志・個人の皆様にお手伝いいただきました。

◆会報の折り込みは、自立ホーム入居者有志の皆様、体調をみながらお手伝いいただきました。

◆バザー会では、各会場でコロナ感染症予防に気を付けながらお手伝いいただきました。ショップセールのお手伝いでも、開始準備や片付け等のお手伝いいただきました。

【太白ありのまま舎】

宮城県車いすダンス協会様や、度庭台ボランティアグループの皆様などに協力いただいている活動については、基本的な感染対策に気を付けながら、活動を進めていきたいと考えております。

毎月、日本基督教団東北教区婦人会の皆様には、会報の折り込み作業にご協力いただいている中、今回は私どもの都合によりお願いできなかったところ、温かくお受け止めくださり、心より感謝申し上げます。また次の機会に、よろしく願っています。(遠藤寿子)

第37回

ありのまま 生活福祉講座

日時

令和8年6月13日(土)
13:30 ~ 16:00

場所

仙台市中小企業活性化センター
(AER) 5階 多目的ホール
〒980-6105
宮城県仙台市青葉区中央1丁目3-1

参加費

一般 2,500 円 (学割・団体割有り)
会員 2,000 円 (年会費 2,000 円、入会金初回のみ 1,000 円)

講師

いしかわ じゅん
石川 准氏 (社会学者、静岡県立大学名誉教授)

演題「ありのままで生きられる社会へ — 共生社会を設計する」

1956年、富山県生まれ。16歳のとき、網膜剥離により失明。全盲で初めて東京大学に点字入試で合格する。東京大学文学部卒業後、同大学大学院社会学研究科修士課程を修了し、博士課程単位取得退学。博士(社会学)。1989年より静岡県立大学国際関係学部にて教育・研究に携わり、1997年から教授、のち名誉教授。専門は社会学・障害学で、障害を社会の問題として捉える視点から研究と実践を続けてきた。また、視覚障害者の生活を支える支援機器の研究・開発にも取り組み、静岡県立大学発ベンチャー企業である有限会社エクストラの代表取締役を務める。2012年から約10年間、内閣府障害者政策委員会委員長として日本の障害者政策の検討と制度づくりを主導。2017年から2020年までは国連障害者権利委員会委員(2019~2020年は副委員長)として、障害者権利条約の実施状況を国際的な立場から審査・提言してきた。研究・政策・当事者の視点を行き来しながら、障害者の人権保障と社会参加の実現に取り組んでいる。

ふじさわ むらさき
藤澤 紫氏 (國學院大学文学部教授 国際浮世絵学会常任理事)

演題「浮世絵は海をこえて—江戸の暮らしと文化の交流—」

学習院大学大学院人文科学研究科哲学専攻博士後期課程単位修得。博士(哲学)。千代田区文化財保護審議会委員、品川区立品川歴史館専門委員、財団法人アダチ伝統木版画技術保存財団評議員ほか。専門は日本美術史、日本文化史、比較芸術学など。特に浮世絵を軸とした研究を進めている。NHKで放送中の「浮世絵EDO-LIFE」の浮世絵監修、「くもんの子ども浮世絵コレクション 遊べる浮世絵」展などの監修もつとめる。

《著書》(近著)『めっちゃくちゃわかるよ! 浮世絵大図鑑』(著書、大和書房、2025年)『イチから知りたい日本のすごい伝統文化 絵で見て楽しい! はじめての浮世絵』(共著: 藤澤紫・藤澤茜、すばる舎、2025年)『楽しく脳活 クイズで学ぶ浮世絵入門』(監修、小学館、2025年)『NHK 浮世絵EDO-LIFE 浮世絵で読み解く江戸の暮らし』(監修、講談社 2020年)『くもんの子ども浮世絵コレクション 遊べる浮世絵 江戸の子ども絵・おもちゃ絵大集合!』(監修: 藤澤紫・加藤陽介、青幻舎、2018年)など。



座長

あきのききょうてんか
彬子女王殿下

寛仁親王殿下の第一女子として御誕生。学習院大学を御卒業後、オックスフォード大学マートン・コレッジに御留学。日本美術を専攻され、海外に流出した日本美術に関する調査・研究により、2010年に博士号を取得された。女性皇族として博士号の取得は史上初のことである。

現在は、京都産業大学日本文化研究所特別教授などとして御勤務のほか、子どもたちに日本文化を伝えるために、御自身で一般社団法人「心游舎」を創設、総裁に就任され、全国各地でワークショップなどを行われている。



「ご支援頂きありがとうございます
ございました」(敬称略)

【書損じはがき等】

26 3/27 4/26

(鈴木一彦)

【バザー提供】

26 3/27 4/29

【バザー開催日のご案内】

※2026年6月※

2日(火) ヨークベニマル山田釣取店

4日(木) ヨークマルシェ大和町店

9日(火) ヨークベニマル南吉成店

11日(木) 鶴ヶ谷生鮮いちば

16日(火) ヤマザワ茂隆店

26日(木) 鶴ヶ谷生鮮いちば

27日(土) ありのままショップアセル

(仙台ありのまま舎)

30日(火) 袋原(向日葵ライフ

サポートセンター)

【ショップ提供】

26 2/5

(栗原市) 有限会社アルコン

【ボトルカンパ】

26 3/27 4/26

花の膳 荒巻中山店(青葉区)

13 332円

お食事のご奉仕など本場に
様々な形で当舎を応援下さり、
全店にカンパボトルも設置頂
いております。相手を思う気
持ちをいつも学ばせて頂いて
おります。

(鈴木一彦)



バザー会の様子→
上記開催日に各店舗
をお借りして行っ
ています。皆様からご提
供いただいた品物を
活用させていただい
ています。

ありのまま舎後援会(敬称略)

26 4/1 4/15

【自販機販売設置支援】

◆サントリースーパーレジ

3月分の売上の一部をご寄付
頂きました。

こくみん共済coop

宮城推進本部 1,475円

ありのまま舎(自立ホーム・太

白ありのまま舎・サポートケア

県南・亘理ありのまま舎)

6,466円

◆株式会社ミチノク

26 1~3月分売上

日下亜弥 213円

亘理ありのまま舎

6,503円

「ありのまま舎運営協力寄付金」

(敬称略)

26 2/8 2/28